

「みんなで決めて、みんなで逃げる」 そなえよう!

みんなとペットの災害対策

加藤 謙介

(九州保健福祉大学 臨床心理学部 教授/
NPO法人ペット防災サポート協会 監事/防災士)

九州保健福祉大学

本日の話題提供のポイント-1

- 『人とペットの災害対策』には、ペットを飼っているかどうかにかかわらず、災害時に誰も排除されず、地域みんなが助かる『インクルーシブな防災・減災』の観点が必要です。
- 過去の『被災』の事例から、「人とペットの災害対策」に必要な『減災』のあり方について、一緒に考えましょう。
- 特に、発災初期の「減災」の課題が、『同行避難』・『同伴避難』・『分散避難』の『人とペットの3つの避難』です。
- キーワードは、『みんなで』。皆さんと、ペット飼い主や地域の方々との『対話』『連携』が大切になります。

3

本日の流れ

- 本日の配布資料紹介
- 自己紹介+α
- 本日の話題提供のポイント
- 『被災』から学ぶ『人とペットの防災・減災』
 - みんなで、決める。: 『クロスロード「ペット編」?』
 - みんなで、生き抜く。: 3つの災害事例から
- そなえよう! 『みんなとペットの3つの避難』
 - 『同行避難』: 日頃からの「ペットの適正飼養」で「ついでに防災」
 - 『分散避難』: 「信頼できる身近な誰か」と「セカンドベストの避難先」を備える
 - 『同伴避難』: 人もペットもみんなが助かる「インクルーシブな避難所」づくりを
 - 『人とペットの地域防災』を進めるために

2

本日の話題提供のポイント-2

- 『同行避難(人とペットの避難行動)』に備えるために、『日頃からのペットの適正飼養』から、『ついでに防災』を進めましょう。
- 『分散避難(人(とペット)の避難所以外への避難)』に備えるために、『信頼できる身近な誰か』と一緒に、自分たちの『セカンドベスト』の『避難先』を見つけ、難を避けましょう。
- 『同伴避難(人とペットの避難所生活)』に備えて、『人もペットもみんなが助かる』避難所』づくりを進めましょう。
- 『人とペットの地域防災』のために、『人もペットもみんなが助かる』地域社会』づくりを進めましょう。

4